

(別紙)

評価細目の第三者評価結果（保育所）

※すべての評価細目（48項目）について、判断基準（a・b・cの3段階）に基づいた評価結果を表示する。

※評価細目毎に第三者評価機関の判定理由等のコメントを記述する。

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

	第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	
I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	Ⓐ・b・c
〈コメント〉 理念や基本方針は明文化されており、職員への行動規範となるように職員室等に掲示している他、職員にカード形式で配布し周知しています。また、ホームページでの公開、「入園のしおり」への記載等を通じて、利用者や地域に向けて情報発信しています。	

I-2 経営状況の把握

	第三者評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	
I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	Ⓐ・b・c
〈コメント〉 当保育園を運営する法人本部では、常に福祉動向を把握しており、地域の保育ニーズを含めた事業経営をとりまく環境を的確にとらえた上で分析を行っています。	
I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	Ⓐ・b・c
〈コメント〉 当保育園を運営する法人本部では、保育現場の課題を把握・分析の上、経営課題を明確にし、施設長会議や職員会議等で役職員に周知しています。	

I-3 事業計画の策定

	第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	
I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	Ⓐ・b・c
〈コメント〉 当保育園を運営する法人本部が主導して、地域福祉推進の目標や取組みの方向、内容、視点等を明らかにしています。	
I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	Ⓐ・b・c
〈コメント〉 法人本部が策定した中・長期計画を踏まえて、園独自で単年度の事業計画が策定されています。なお、これらの計画は、法人本部と連携を図りながら策定を行っています。	

I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
I-3-(2)-①	事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	㉠・b・c
〈コメント〉 単年度の事業計画の実施状況を把握した上で見直しを行っています。また、法人内に各種委員会を設置し、各園の代表者が具体的な施策の検討、実施状況の共有等を行っています。		
I-3-(2)-②	事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a・㉡・c
〈コメント〉 事業計画について、入園のしおり、園だより等を利用して保護者へ周知しています。外国籍の方には、写真等を交え説明するなど、理解を促す工夫を行っています。さらに理解を深めるため、保護者から事業計画に対する意見や考えを聞くことができる仕組みづくりを期待します。		

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
I-4-(1)-①	保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	㉠・b・c
〈コメント〉 保育に関するチェックポイント（コミュニケーション、事故対応、地域交流等）について、各職員が自己評価を行い、取りまとめています。その結果から課題を抽出し、保育の質向上に取り組んでいます。		
I-4-(1)-②	評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	㉠・b・c
〈コメント〉 自己評価や各種会議を通じて、職員間で情報共有して改善課題の把握に努めています。改善課題を可視化し、計画的に改善策を実施しています。		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
Ⅱ-1-(1)-①	施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を促している。	㉠・b・c
〈コメント〉 園長は、保育現場で職員のサポートや指導を積極的に行い、園の運営にあたっては職員の意見を踏まえて議論を進めています。また、園だよりを園長が作成し発信するなど、保護者への情報提供も積極的に行っています。		
Ⅱ-1-(1)-②	遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	㉠・b・c
〈コメント〉 法人が主催する会議や研修会、外部研修会に積極的に参加し、遵守すべき法令等の理解を深めるとともに、研修会等で得た知識を園内研修等で職員に指導・周知しています。		

II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
	II-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	㉠・b・c
〈コメント〉 園長は、積極的に保育現場に入り、職員をサポートしながら、保育内容に関する適切な指導やアドバイスを行っています。		
	II-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	㉠・b・c
〈コメント〉 園長は、送迎時等に得られた保護者からの意見や要望を集約し、職員間で共有するなど改善に努めています。また、職場環境の改善にも取り組み、各職員が働きやすい職場づくりを進めています。		

II-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
	II-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a ㉠・c
〈コメント〉 採用や人事管理については、法人本部で一括して所管していますが、新卒、中途を含めた正規職員の採用が難しく、非正規職員の割合が増加してきており、安定した人員確保が期待されます。		
	II-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	㉠・b・c
〈コメント〉 職員として必要とされるスキルを伸ばすため、各種研修会の開催、外部研修への派遣等を精力的に行っている。人事考課に関しては、法人で統一した自己評価シートに基づき行われています。		
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
	II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	a ㉠・c
〈コメント〉 職員のワークライフバランスを重視し、働きやすい環境整備に努めています。一方で、小規模園であり職員の人員が少数であることから、欠員がでた場合等の職員一人ひとりにかかる負担は大きく、法人本部と連携して改善に取り組むことが望まれます。		
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
	II-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	㉠・b・c
〈コメント〉 職員が様々な研修に参加し、スキルアップに努めています。各職員が設定した年度目標に基づいて、園長との面談、アドバイスや相談が行われており、職員の職歴や職務内容に合わせた人材育成に関する取り組みがなされています。		
	II-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	㉠・b・c
〈コメント〉 法人本部の研修体制が構築されており、職種・経験年数等に応じて、職員として必要とされる知識や能力の向上を目的とした研修を実施しています。		

Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	㉑・b・c
〈コメント〉 職員の経験年数等に応じて、必要とされる知識や能力の向上を目的とした研修機会が確保されて、スキルアップに努めています。また、研修受講者が園内会議等でその内容を報告、説明することで、職員全員に共有されています。	
Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。	
Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a ㉒・c
〈コメント〉 実習生受け入れマニュアルを整備し、研修・育成の体制は整備されていますが、実習生の受け入れが進んでおらず、さらなる積極的な取組が期待されます。	

Ⅱ-3 運営の透明性の確保

	第三者評価結果
Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。	
Ⅱ-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	㉑・b・c
〈コメント〉 保育園の事業や財務等に関する情報については、法人本部の所管でホームページ等で適切に公開されています。	
Ⅱ-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	㉑・b・c
〈コメント〉 法人本部において、監査法人の外部監査を受けており、公正で透明性の高い運営に努めています。	

Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献

	第三者評価結果
Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	
Ⅱ-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	㉑・b・c
〈コメント〉 日頃の散歩や近隣行事への参加等を通じて、地域住民と交流する機会を数多く設けており、地域一丸となって子どもを見守っています。また、交流の様子は写真付きで園内に掲示され、保護者にも共有されています。	
Ⅱ-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	㉑・b・c
〈コメント〉 「ボランティア受入マニュアル」を整備し、法人本部が窓口となり受け入れを行っています。	
Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。	
Ⅱ-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	㉑・b・c
〈コメント〉 保育園と小学校が一貫した教育体制を整備できるよう、アプローチカリキュラムを作成し、小学校や他園との連携を強化しています。	

Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
Ⅱ-4-(3)-①	地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	㉠・b・c
〈コメント〉 法人では地域子育て支援拠点事業、高齢者福祉事業、地域活動支援事業等を運営しています。地域の福祉ニーズを把握する体制が整っており、保育の現場と連携した取組を行っています。		
Ⅱ-4-(3)-②	地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	㉠・b・c
〈コメント〉 園では園庭開放や子育て相談を年3回実施しています。また、法人では地域の高齢者を対象とした「お買い物無料バス」の運行等を行っています。		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
Ⅲ-1-(1)-①	子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	㉠・b・c
〈コメント〉 子どもの権利に関する研修への参加、研修内容の園内での共有のほか、職員会議等で保育目標について職員に周知しています。また、「虐待防止のためのチェックシート」により各職員が振り返りを行っています。		
Ⅲ-1-(1)-②	子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	a ㉠・c
〈コメント〉 子どもの権利に関する研修への参加、研修内容の共有により権利擁護に関する意識の醸成がなされていますが、設備面において、プライバシー保護の配慮に欠ける部分が見受けられ、改善が期待されます。		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
Ⅲ-1-(2)-①	利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	㉠・b・c
〈コメント〉 法人のホームページや広報誌を活用して、提供する保育の内容等の情報を発信しています。また、施設の見学希望や個別相談にも園長が対応し、園の特色や保育方針等を資料を用いて丁寧に説明しています。		
Ⅲ-1-(2)-②	保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	㉠・b・c
〈コメント〉 法人本部のホームページのほか、入園のしおり、園だより、保育システム等を活用し、保護者が理解しやすい説明を行っています。また、外国籍の方には、写真等を交え、より丁寧に説明しています。		
Ⅲ-1-(2)-③	保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	㉠・b・c
〈コメント〉 保育所等の変更の際には、継続的な保育を実施できるよう、必要に応じて引き継ぎを行っています。		

Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。		
Ⅲ-1-(3)-①	利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	㉑・b・c
<p>〈コメント〉 小規模園のため、送迎時に子どもの様子を伝えるなど積極的にコミュニケーションを取り、日常的な関わりのなかで保護者の意向を確認できています。また、保護者向けアンケートを実施し、意見吸収の機会を設けています。</p>		
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
Ⅲ-1-(4)-①	苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	㉑・b・c
<p>〈コメント〉 法人本部において苦情解決の体制が整備されており、園内に文書を掲示して利用者や職員への周知が図られ、苦情への対応結果についても保育支援システムでの共有や掲示板での掲示を行っています。</p>		
Ⅲ-1-(4)-②	保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	㉑・b・c
<p>〈コメント〉 小規模園であり、日常的な関わりのなかで保護者の意向を確認できています。また、入園のしおりに相談窓口の連絡先を記載するなど、電話での相談受付体制も整備しています。</p>		
Ⅲ-1-(4)-③	保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a ㉑・c
<p>〈コメント〉 保護者から相談があった際には、園長と共有の上、各職員が対応して記録を残しています。送迎時の会話の延長で相談や意見を受付けたケースにおいて、一部、記録や共有が不十分な場合があり、もれなく共有される仕組みを検討されることが期待されます。</p>		
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
Ⅲ-1-(5)-①	安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	㉑・b・c
<p>〈コメント〉 ヒヤリハットや子どもが怪我をした際の記録を行い、全職員に周知することで再発防止に努めています。毎月、避難訓練を実施するなど、子どもの安全確保に取り組んでいます。</p>		
Ⅲ-1-(5)-②	感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	㉑・b・c
<p>〈コメント〉 感染症予防や発生時におけるマニュアルが策定されており、職員への周知も行われています。保護者に対しても、保健トピックス等を用いて情報提供、注意喚起を行っています。</p>		
Ⅲ-1-(5)-③	災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	㉑・b・c
<p>〈コメント〉 事業継続計画（BCP）策定済みです。また、土砂災害警戒区域にあたることもあり、毎月の避難訓練に加え、土砂災害を想定した避難訓練を年2回実施しています。万が一に備え、十分な非常食も備蓄しています。</p>		

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な方法が確立している。		
Ⅲ-2-(1)-①	保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	㉠・b・c
<p>〈コメント〉 保育指針に基づき保育を進め、支援に悩んだ際はマニュアルで振り返り、職員同士で相談し合うなど子どもの成長に応じた保育を行う仕組みが整備されています。また、利用者アンケートでは、きめ細やかな対応への感謝の気持ちが表れていました。</p>		
Ⅲ-2-(1)-②	標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a ㉡・c
<p>〈コメント〉 小規模園であり、子ども一人ひとりの様子を細かに把握した保育が実施されています。園内研修等で保育の見直しを行っているものの、現場では多忙な場面等において対応が不十分なことがあり、標準的な対応が常時なされることが期待されます。</p>		
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
Ⅲ-2-(2)-①	アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	㉠・b・c
<p>〈コメント〉 子ども一人ひとりの状況を把握の上、保育支援システムを活用し、アセスメントを行っています。各担任が策定した指導計画を主任、園長で確認しています。</p>		
Ⅲ-2-(2)-②	定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	㉠・b・c
<p>〈コメント〉 指導計画の見直しは、職員会議における意見や情報をもとに、主任、園長と相談の上、随時行っています。</p>		
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
Ⅲ-2-(3)-①	子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	㉠・b・c
<p>〈コメント〉 日々の記録は保育支援システムに入力し、職員間で共有しています。記録方法についても、園内研修で指導されています。</p>		
Ⅲ-2-(3)-②	子どもに関する記録の管理体制が確立している。	㉠・b・c
<p>〈コメント〉 法人本部の規定に基づき、保育に関する様々な記録は、施錠された書庫等に適切に保管されています。</p>		

評価対象Ⅳ 三重県独自基準

Ⅳ-1 地域項目

	第三者評価結果
Ⅳ-1 地域に関われた施設運営が適切に行われている。	
Ⅳ-1-① 子育て経験者との連携がとれている。	㉠・b・c
<p>〈コメント〉 地域の高齢者が主催する「よっといで喫茶」等の地域イベントに積極的に参加するなど、地域住民との交流機会が多く、地域全体の子育て経験者と関わりながら、子どもを育てる環境が整っています。</p>	
Ⅳ-1-② 子供の安全確保について地域との相互協力体制の構築を行っている。	㉠・b・c
<p>〈コメント〉 地域住民と不審者情報や危険箇所、マムシ、蜂、熊等の危険生物に関する情報交換を行っています。また、散歩の際に通る野菜売場では、地域の方が園児を心待ちにしており、声かけを行ってくれています。</p>	
Ⅳ-1-④ 地域の環境保護に貢献している。	a・㉠・c
<p>〈コメント〉 保護者会協力のもと、園周辺の草刈りを行っています。また、アルミ缶回収を通じて、資源の大切さを子どもに伝えています。</p>	